



2025年3月期第2四半期

決算説明資料

2024年11月20日

日本紙パルプ商事株式会社

目次

I	2025年3月期第2四半期決算概要	—————	P.2
II	2025年3月期業績予想	—————	P.17
III	OVOL長期ビジョン2030および OVOL中期経営計画2026概要説明	—————	P.22
IV	OVOL中期経営計画2026進捗状況	—————	P.31



I 2025年3月期 第2四半期決算概要

決算ハイライト

- 売上収益は、国内卸売・海外卸売・製紙加工・不動産賃貸セグメントの増収や為替換算の影響による増加などから、前年同期比増。
(前年同期比102.6%)
- 経常利益は、国内卸売・海外卸売セグメントにおける人件費などの販売費および一般管理費が増加した影響により、前年同期比減。
(前年同期比92.6%)
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、固定資産売却益などの特別利益の計上があったことから、前年同期比増。
(前年同期比107.3%)

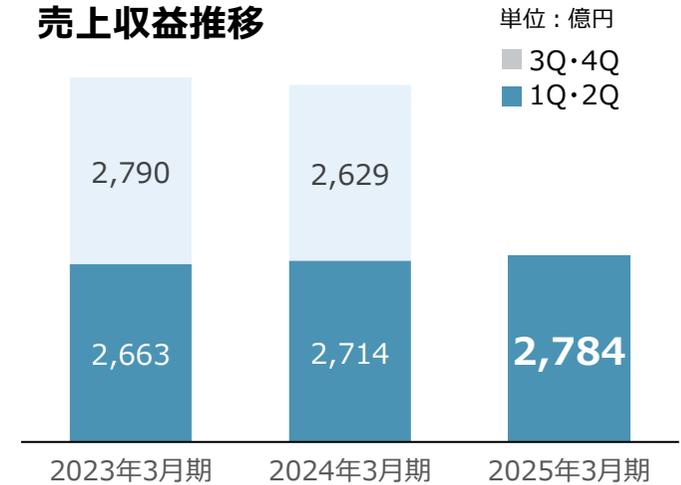
連結業績概要

売上収益は海外卸売セグメントにおける為替換算の影響による増加などから、前年同期比増
 経常利益は国内卸売・海外卸売セグメントにおける人件費等の経費増が影響し、前年同期比減

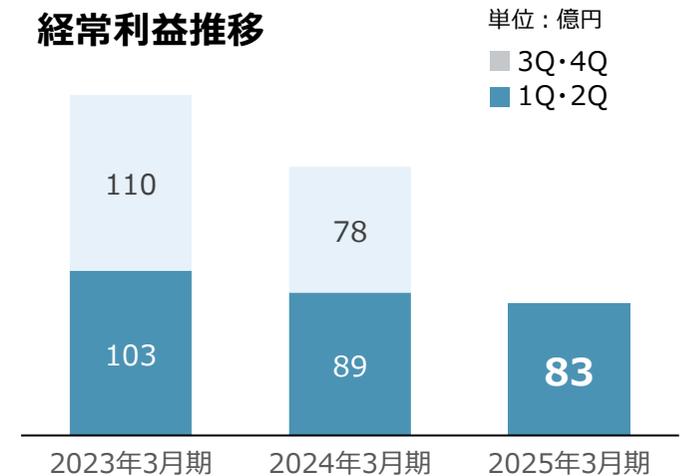
単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比
売上収益	271,375	278,419	102.6%
売上総利益	43,633	45,939	105.3%
営業利益	8,867	8,185	92.3%
経常利益	8,909	8,250	92.6%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	5,324	5,714	107.3%

売上収益推移



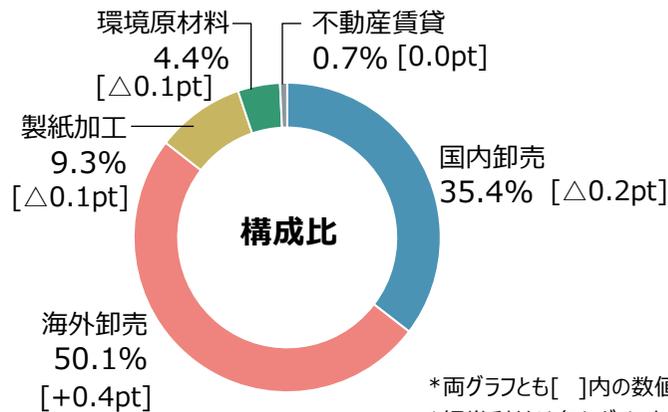
経常利益推移



セグメント業績

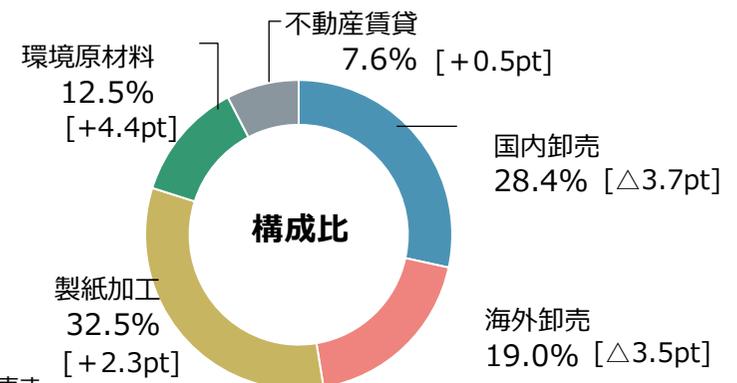
安定収益基盤の強み ... 国内卸売・海外卸売は減益も、製紙加工・環境原材料の増益により、連結経常利益減少幅を縮小

セグメント別外部顧客への売上収益構成比



*両グラフとも[]内の数値は構成比の前年度からの変化を表す
*経常利益は各セグメントの単純合計で調整額を除く

セグメント別経常利益構成比



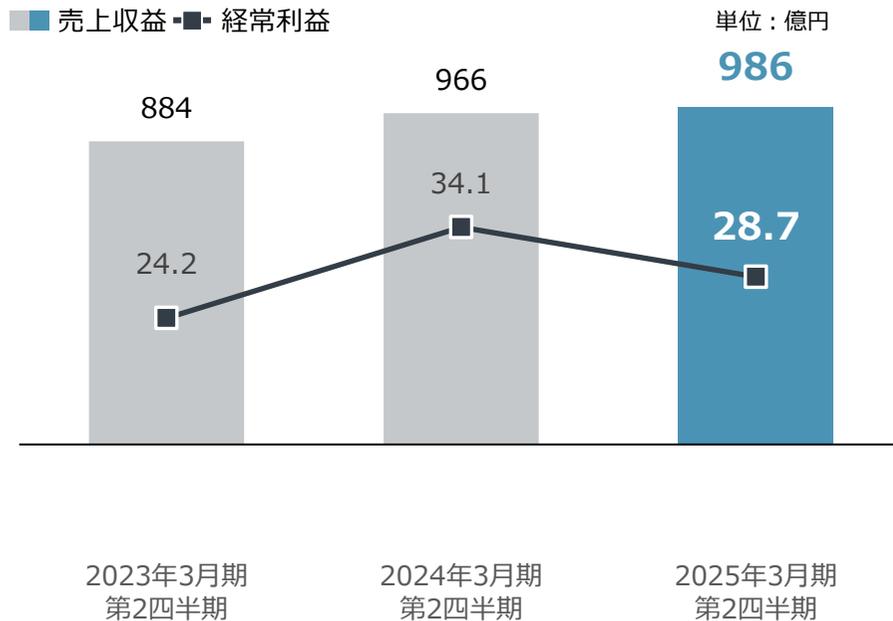
セグメント	外部顧客への売上収益			経常利益		
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比
国内卸売	96,649	98,577	102.0%	3,405	2,869	84.2%
海外卸売	134,877	139,467	103.4%	2,386	1,920	80.4%
製紙加工	25,457	25,961	102.0%	3,209	3,283	102.3%
環境原材料	12,377	12,331	99.6%	856	1,262	147.5%
不動産賃貸	2,015	2,084	103.4%	755	769	101.9%
調整額	-	-	-	△1,702	△1,852	-
連結損益計算書計上額	271,375	278,419	102.6%	8,909	8,250	92.6%

国内卸売セグメント①

売上収益：板紙、機能材料製品の販売増加により、前年同期比増

経常利益：人件費などの販売費および一般管理費の増加により、前年同期比減

外部顧客への売上収益・経常利益推移



セグメントの業績概況

【紙】

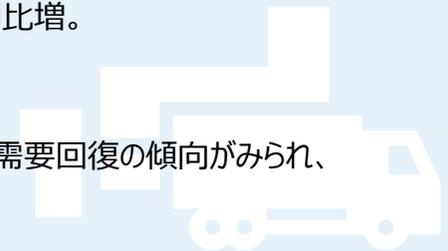
デジタル化の進行、定期雑誌の休刊や部数減、チラシ・カタログの発行回数・部数減などにより、販売数量は前年同期比減少となり、売上収益は前年同期比減。

【板紙】

物価高による買い控えや、中部地区を中心に工業製品向けの段ボール原紙の需要回復が遅れているものの、飲料やインバウンド需要の回復に加え、トレーディングカード用途の販売が増加したことにより、売上収益は前年同期比増。

【機能材料製品】

エレクトロニクス関連を中心に需要回復の傾向がみられ、販売数量は前年同期比増。



国内卸売セグメント②

日本紙パルプ商事単体：販売数量・売上収益

	販売数量（万t）			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
紙	43.7	42.9	△0.9	98.0%
板紙	38.8	39.2	+0.4	101.0%

	売上収益（億円）			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
紙	643.7	637.3	△6.4	99.0%
板紙	161.4	176.9	+15.5	109.6%

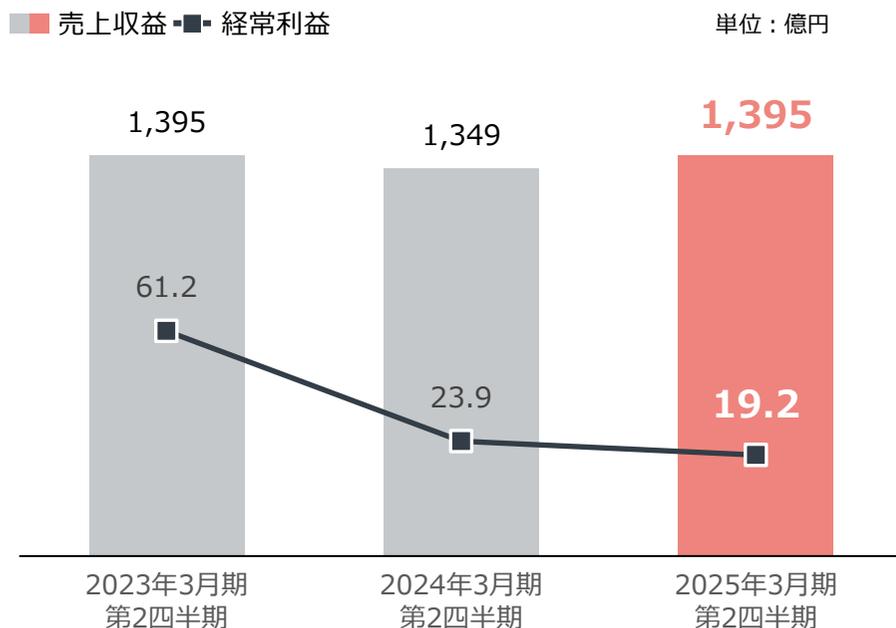
I 2025年3月期 第2四半期決算概要

海外卸売セグメント①

売上収益：主に為替換算の影響により、前年同期比増

経常利益：人件費など販売費および一般管理費の増加により、前年同期比減

外部顧客への売上収益・経常利益推移



セグメントの業績概況

【米国・英国・豪州】

市場においては、デジタル化の進行などによる需要の減少傾向が継続、競争激化により単価は下落傾向。

一方、前年度に発生した顧客における在庫調整が収束したこともあり、販売数量は主に米国で回復、前年同期比増。

【本邦からの輸出】

中国、東南アジア向けの紙の販売が増加。

【売上収益】

売上収益は、主に為替換算の影響により前年同期比増。

海外卸売セグメント②

セグメント内 当社単体及び事業別売上収益・経常利益

	売上収益（億円）			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
当社	126.6	153.8	+27.2	121.5%
米国事業	557.5	565.9	+8.4	101.5%
欧州事業	300.1	304.8	+4.7	101.6%
オセアニア事業	230.8	234.1	+3.3	101.4%
アジア事業	133.7	136.0	+2.3	101.7%

	経常利益（億円）			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
当社	3.3	4.1	+0.8	123.0%
米国事業	6.9	9.8	+2.9	141.9%
欧州事業	4.9	0.1	△4.8	2.1%
オセアニア事業	8.0	5.4	△2.6	67.0%
アジア事業	0.3	0.1	△0.1	48.0%

セグメント内 事業別販売数量

(単位:万t)	販売数量（万t）			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
米国事業	21.7	31.0	+9.3	143.0%
欧州事業	9.0	9.0	△0.1	99.4%
オセアニア事業	7.5	7.4	△0.1	98.4%

注：販売数量は主要子会社の単純合算であり、左表と集計対象は同一ではない

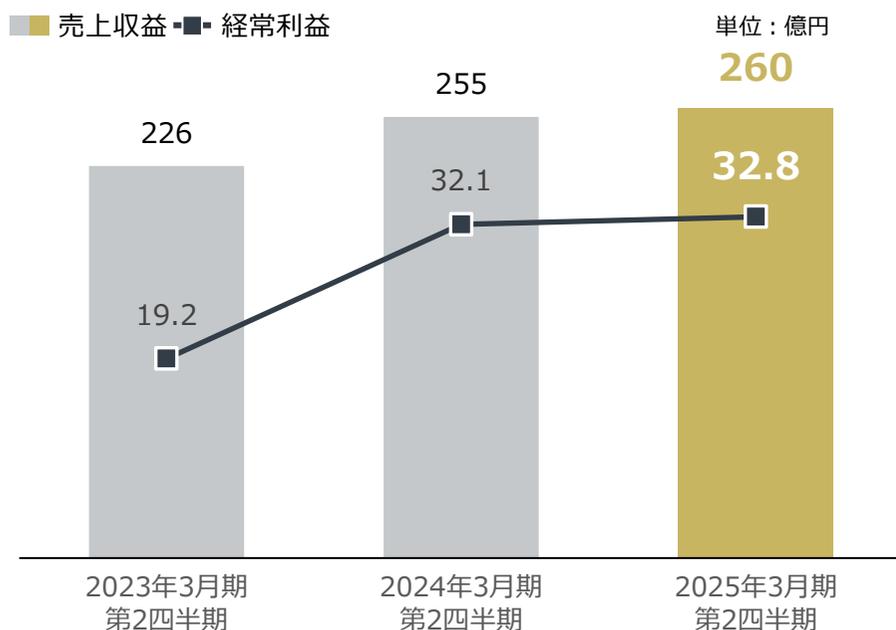
I 2025年3月期 第2四半期決算概要

製紙加工セグメント①

売上収益：段ボール・再生家庭紙とも販売数量は前年同期並みとなったが、段ボール事業の増収により、前年同期比増

経常利益：不採算であったベトナム再生家庭紙事業の売却などにより、前年同期比増（P37参照）

外部顧客への売上収益・経常利益推移



セグメントの業績概況

【段ボール事業】

販売数量はほぼ前年並み、売上収益は前年同期比増。

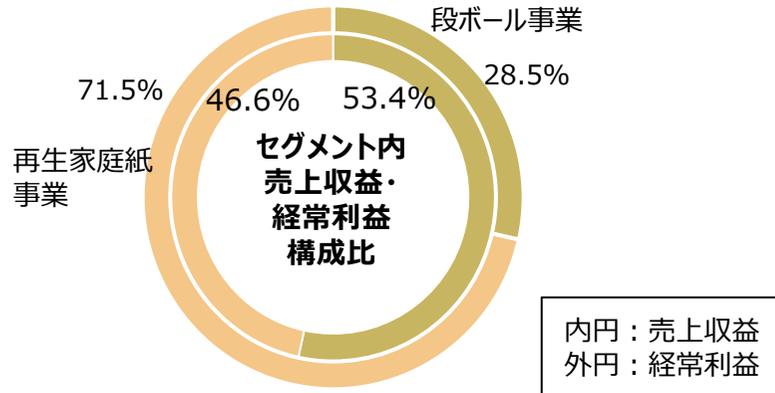
【再生家庭紙事業】

販売数量は微減、売上収益は前年同期比微減。

【経常利益】

原燃料・物流費等は高止まりしているが、生産効率化による製造コストの低減に加え、再生家庭紙事業において販売単価の上昇、不採算であったベトナム事業の売却などにより前年同期比増。

製紙加工セグメント②



セグメント内 事業別売上収益・経常利益

	売上収益（億円）			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
段ボール事業	132.8	138.7	+5.9	104.4%
再生家庭紙事業	121.8	120.9	△0.8	99.3%

セグメント内 事業別数量

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
段ボール原紙事業 販売数量 (万t)	11.4	11.3	△0.1	99.1%
段ボール加工事業 販売数量 (万㎡)	7,731.4	7,935.7	+204.3	102.6%
再生家庭紙事業 生産数量 (万t)	5.7	5.6	△0.1	97.8%

注：家庭紙のみ生産数量。また、生産・販売数量は主要子会社の単純合算

	経常利益（億円）			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
段ボール事業	14.2	9.4	△4.8	66.2%
再生家庭紙事業	17.9	23.5	+5.5	130.9%

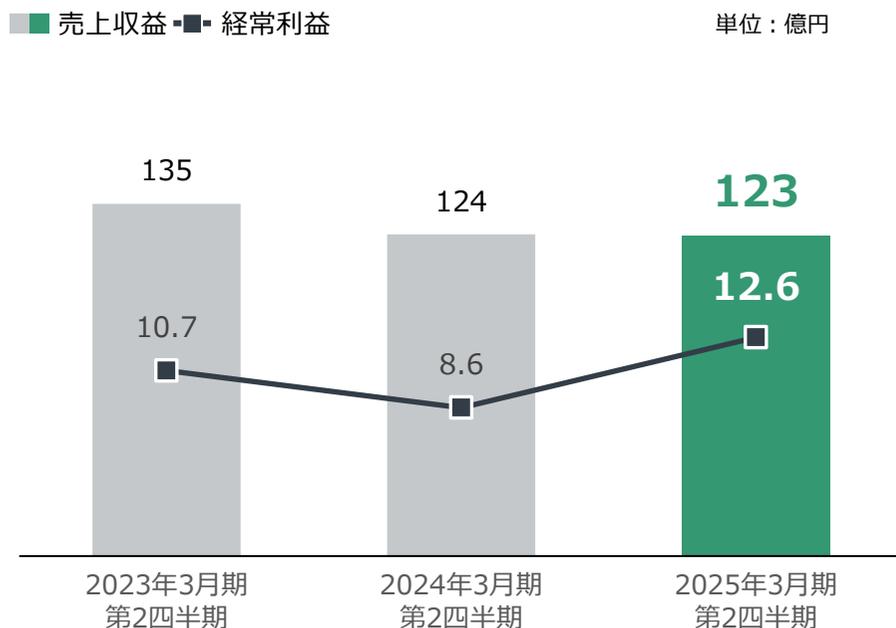
I 2025年3月期 第2四半期決算概要

環境原材料セグメント①

売上収益：木質バイオマス発電所向け燃料の増加も、古紙の販売減少により、前年同期比微減

経常利益：木質バイオマス発電所向け燃料の増加が寄与し、前年同期比増

外部顧客への売上収益・経常利益推移



セグメントの業績概況

【古紙】

国内・米国ともに紙・板紙需要の減少に伴う古紙の発生減による販売数量の減少、加えて米国にて事業拠点2か所を閉鎖(P38参照)したことから売上収益は前年同期比減。

【パルプ】

海外製紙メーカー向け販売数量が減少。
(前年同期比79.5%)

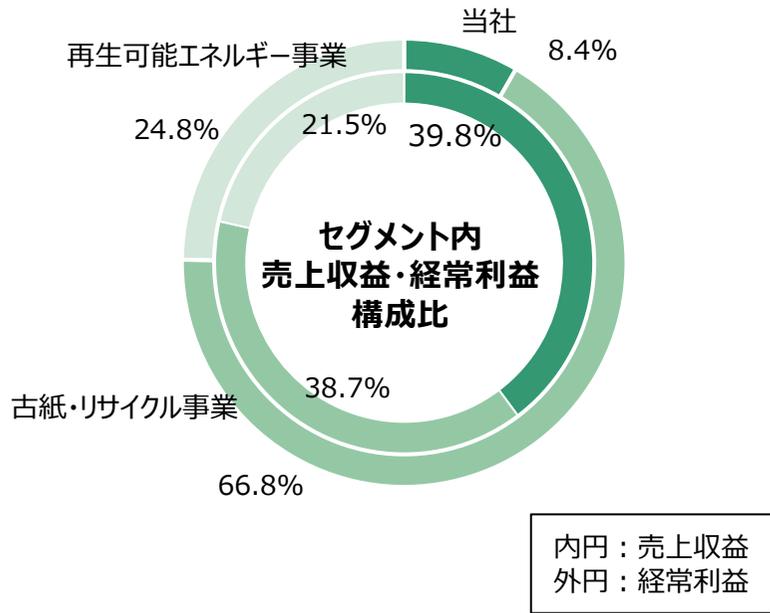
【再生可能エネルギー事業】

太陽光発電は順調、木質バイオマス発電は燃料費の上昇により採算は厳しい状況。木質バイオマス発電所向け燃料の販売数量が前年同期比121.7%に増加。

【総合リサイクル事業】

容器包装プラスチックの取扱および、RPF・古紙パルプの販売が順調。

環境原材料セグメント②



セグメント内 当社単体および事業別売上収益・経常利益

	売上収益 (億円)			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
当社	40.9	49.0	+8.1	119.8%
古紙・リサイクル事業	65.0	47.8	△17.2	73.5%
再生可能エネルギー事業	17.9	26.5	+8.6	148.2%

	経常利益 (億円)			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年増減	前年比
当社	0.7	1.1	+0.4	162.7%
古紙・リサイクル事業	4.0	3.1	△0.8	78.8%
再生可能エネルギー事業	4.0	8.4	+4.5	214.3%

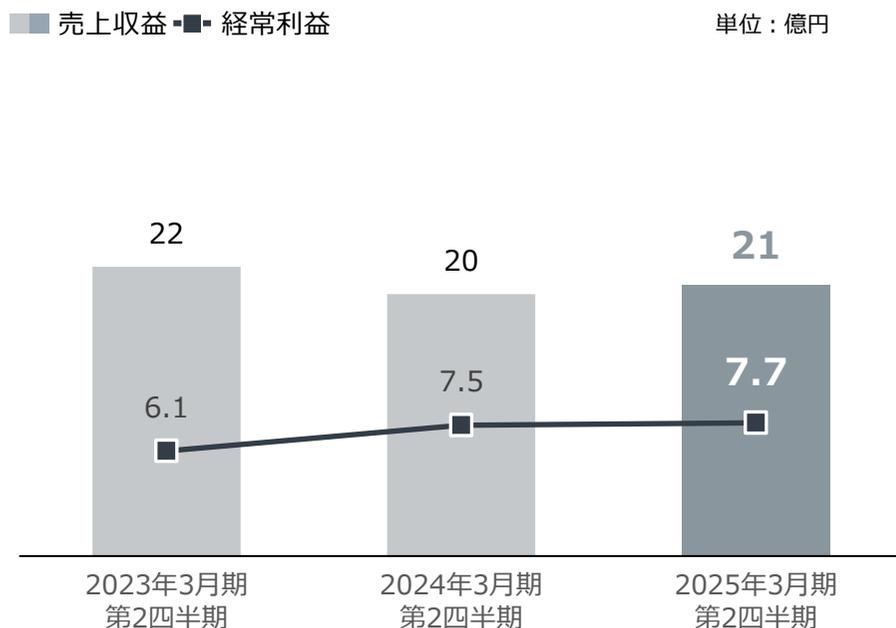
I 2025年3月期 第2四半期決算概要

不動産賃貸セグメント

売上収益：主要賃貸物件が高水準の稼働を維持

経常利益：賃貸料収入の増加により前年同期比増

外部顧客への売上収益・経常利益推移



セグメントの業績概況

【売上収益】

主要物件が高稼働を続けており、売上収益は前年同期比微増、経常利益も前年同期比増

【トピックス】

京都市中京区に所有する物件の解体工事に着手。

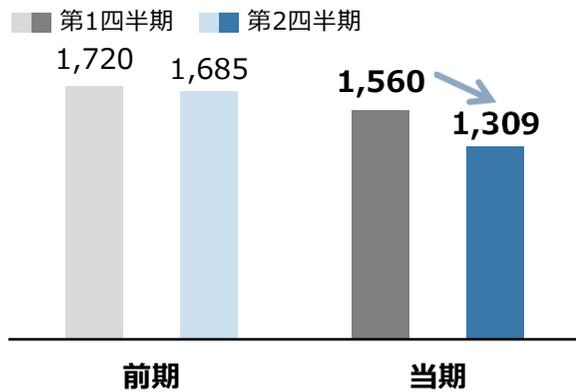


2025年3月期第1・第2四半期推移、および前年同期との比較

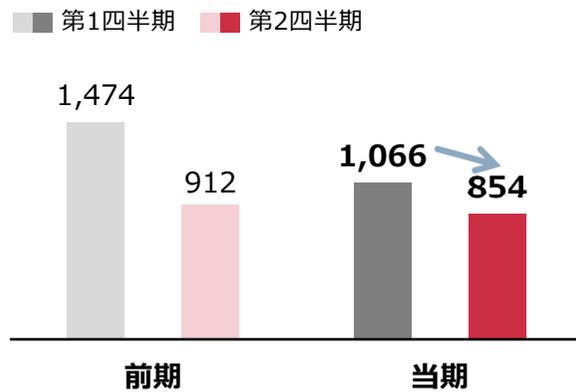
経常利益：第1・第2四半期（3か月）比較・前年同期比比較

単位：百万円

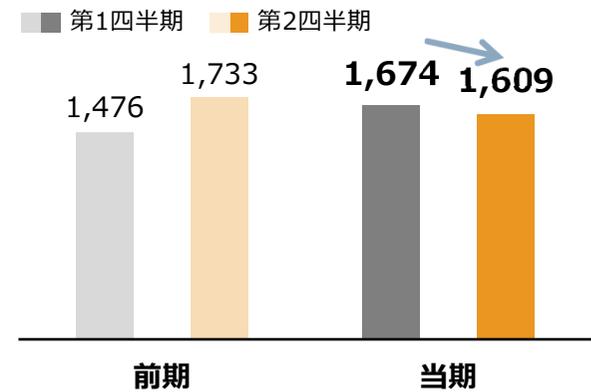
国内卸売



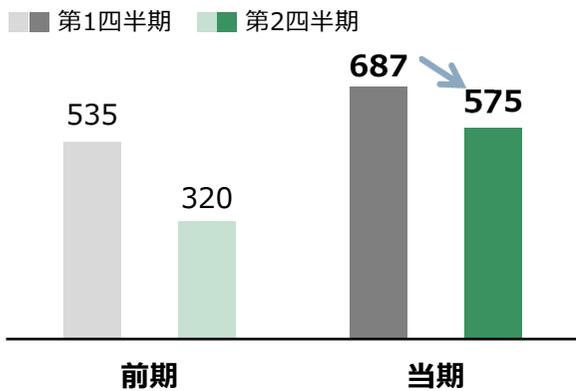
海外卸売



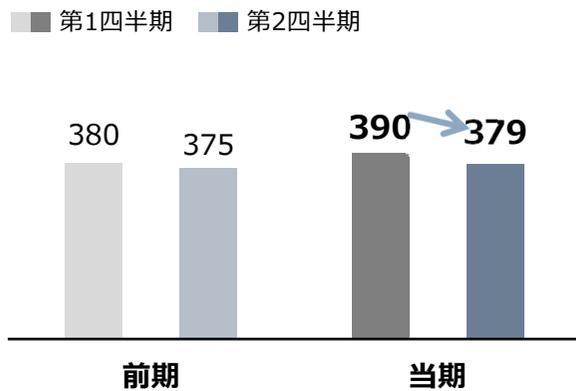
製紙加工



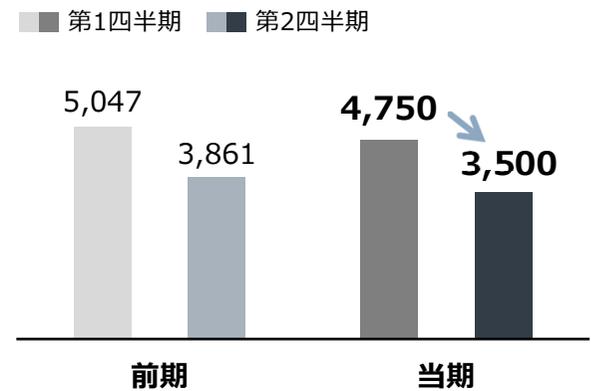
環境原材料



不動産賃貸



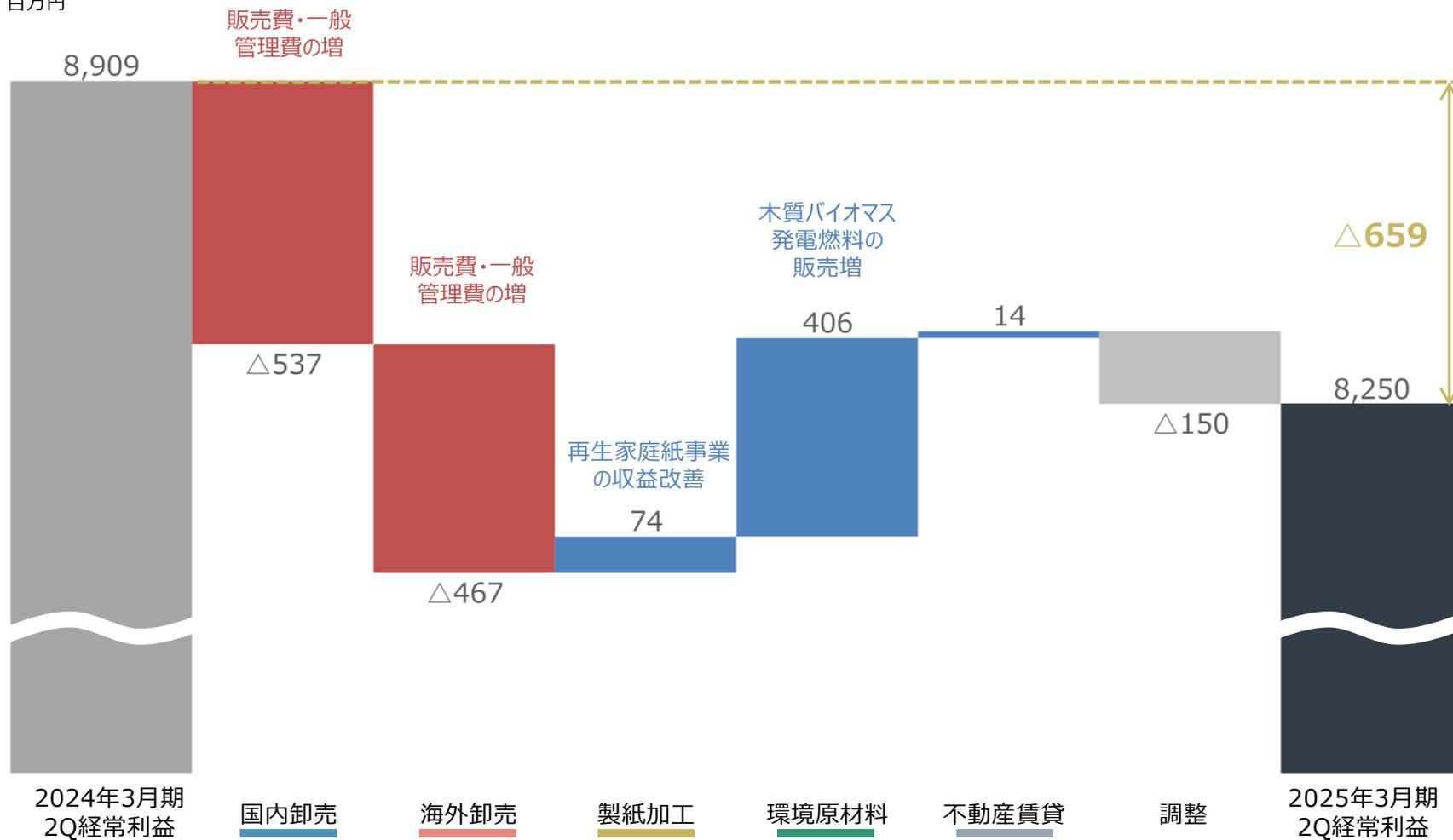
連結合計



経常利益 増減益分析

前年度実績に対して△659百万円、92.6%で着地

単位：百万円





II 2025年3月期業績予想

連結業績予想

2024年3月期実績に対して経常利益は107.4%、親会社株主に帰属する当期純利益は96.6%

単位：百万円

科目	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前期比
営業利益	17,403	18,000	103.4%
経常利益	16,753	18,000	107.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	10,357	10,000	96.6%

連結業績予想に対する進捗

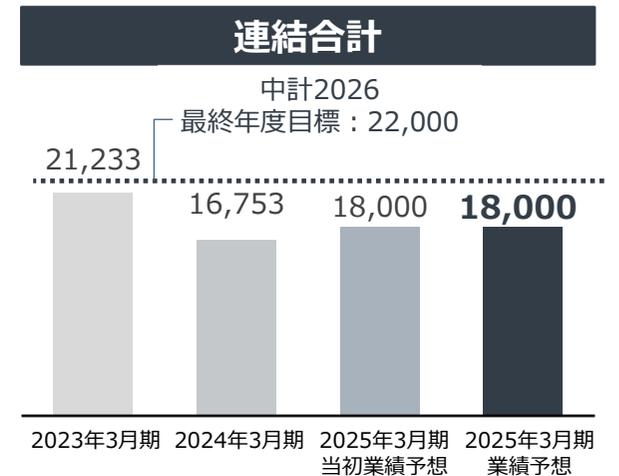
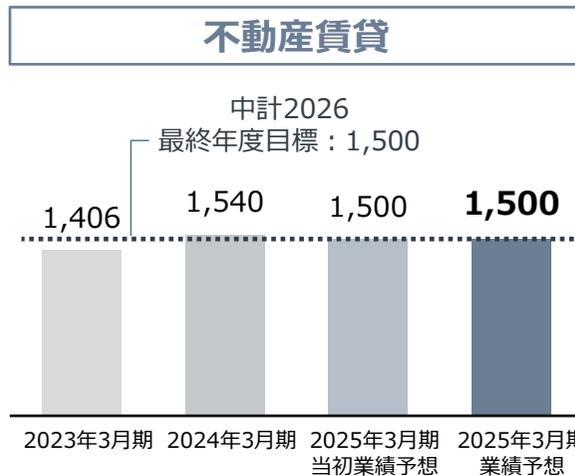
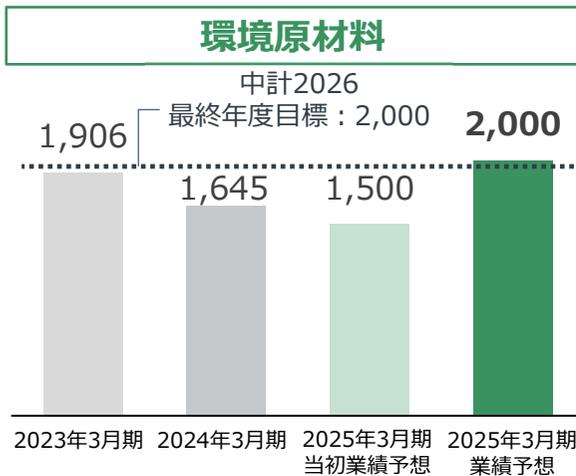
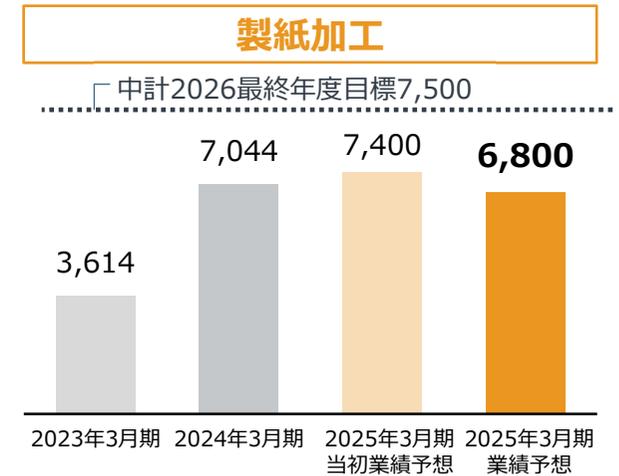
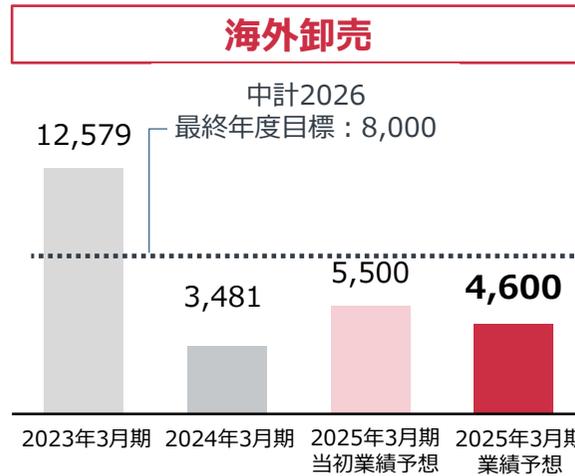
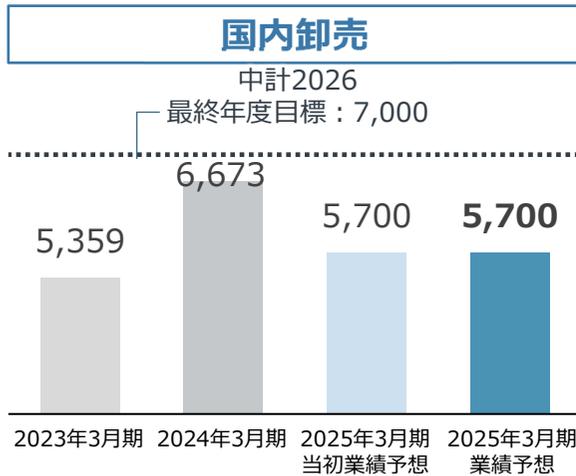
海外卸売・製紙加工セグメントの落ち込みを環境原材料セグメントの上振れで、連結業績予想は
経常利益180億円を維持

	見通し
国内卸売セグメント	<ul style="list-style-type: none">紙は需要減少の継続が見込まれる一方、板紙は需要回復に期待。物流費・人件費など販売費および一般管理費は増加。
海外卸売セグメント	<ul style="list-style-type: none">顧客の在庫調整が収束し、販売数量の回復は見られるものの、販売価格は下落傾向。人件費などの販売費および一般管理費は増加。
製紙加工セグメント	<ul style="list-style-type: none">販売数量は前年並み、再生家庭紙では販売価格は上昇傾向。原燃料・物流費などの上昇により、製造コストは増加。
環境原材料セグメント	<ul style="list-style-type: none">紙・板紙の需要減少に伴い、古紙発生量が減少傾向。木質バイオマス燃料の販売は好調。

2025年3月期 セグメント別予想

セグメント別 経常利益推移

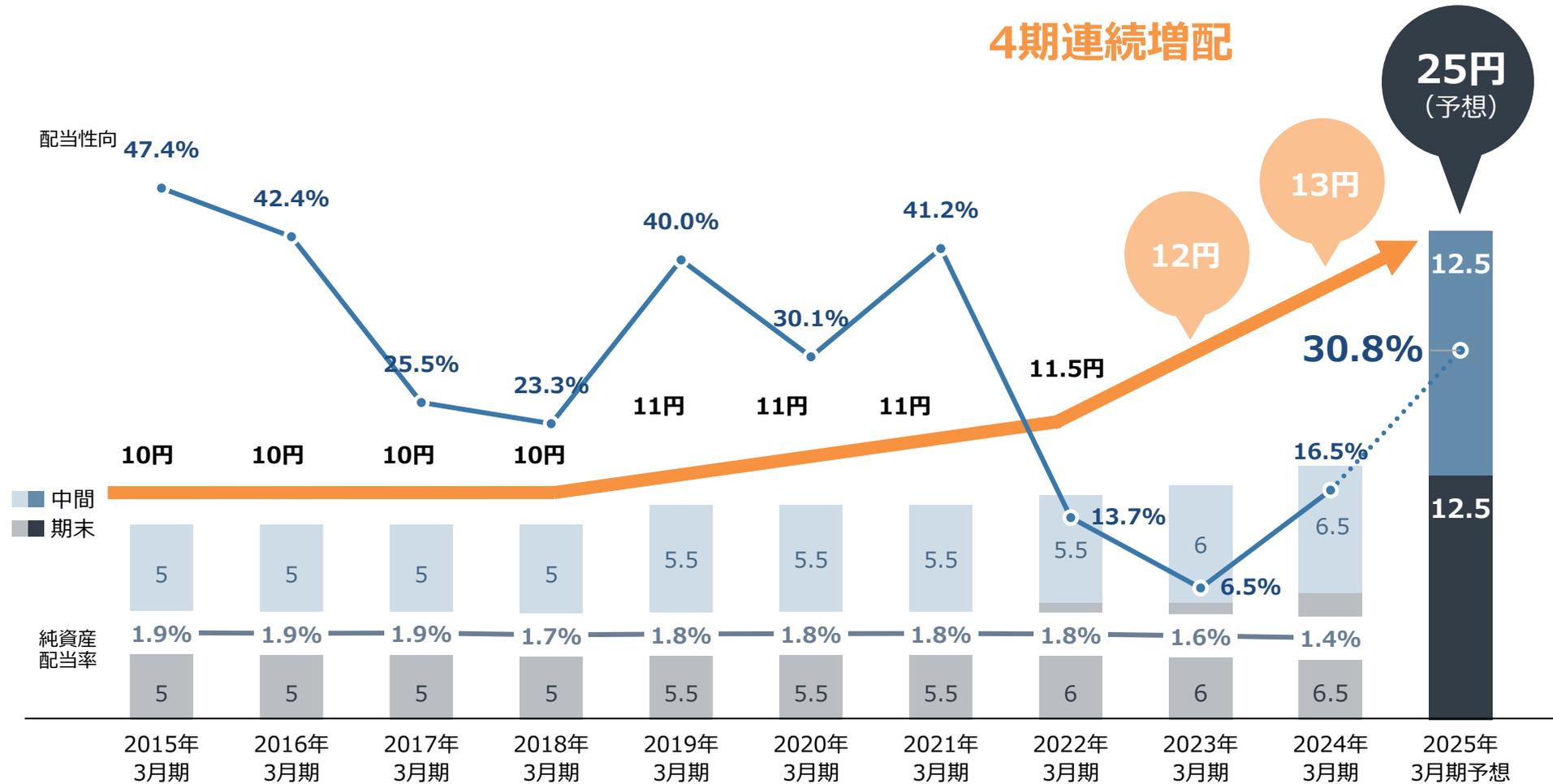
単位：百万円



II 2025年3月期 業績予想
配当（実績および予想）

2025年3月期は年間配当25円を予定、4期連続となる増配

4期連続増配



※2018年3月末に10:1の株式併合、2024年9月末に1:10の株式分割を実施したため、2024年3月期以前の配当額については株式調整後の金額を表示しております。



 **OVOL長期ビジョン2030および
OVOL中期経営計画2026概要説明**

OVOL長期ビジョン2030 Paper, and beyond

世界最強の紙流通企業グループ

170有余年の実績を持つ紙・板紙卸売事業のノウハウ・ネットワークを磨き上げ、
自他ともに認める世界最強の紙流通企業グループになります

あるべき姿

- 世界の紙・板紙市場のサプライチェーンにおいて、圧倒的な「信頼感」「存在感」「機能」を発揮している
- お客様の製品やサービスの付加価値と企業価値向上に貢献している
- 当社グループが有する紙ビジネスに必要とされる専門的機能を提供するプラットフォームを世界に広く展開している

持続可能な社会と地球環境に 一層貢献する企業グループ

コアビジネスである紙・板紙卸売事業に加え、古紙等のリサイクル事業と製紙事業、
更には再生可能エネルギー事業等を通じ、SDGsを強く意識し、
持続可能な社会と地球環境に一層貢献する企業グループになります

あるべき姿

- サプライチェーン全体において、カーボンニュートラルに取り組むとともに環境負荷の最小化を実現している
- 生物多様性の保全・回復に貢献している
- 古紙・プラスチックのリサイクル事業、古紙を原料とする製紙事業による、循環型社会の構築に寄与している

紙業界の枠を超えた エクセレントカンパニー

社会の中で広く認知され評価されるエクセレントカンパニーになります

あるべき姿

- サステナブル投資を含む成長投資により企業価値が継続的に向上している
- ワークエンゲージメントが向上している
- 確固たるガバナンス体制のもと、企業の成長性、経営の透明性、財務の健全性、投資効率を向上させ、株主から高い評価を得ている
- コンプライアンスと環境・安全衛生管理をグループ全体で徹底している
- 紙の機能・価値の普及活動によって、紙の文化の発展に寄与している

2030年度定量イメージ

連結経常利益 **250億円**

OVOL中期経営計画2026の位置づけ

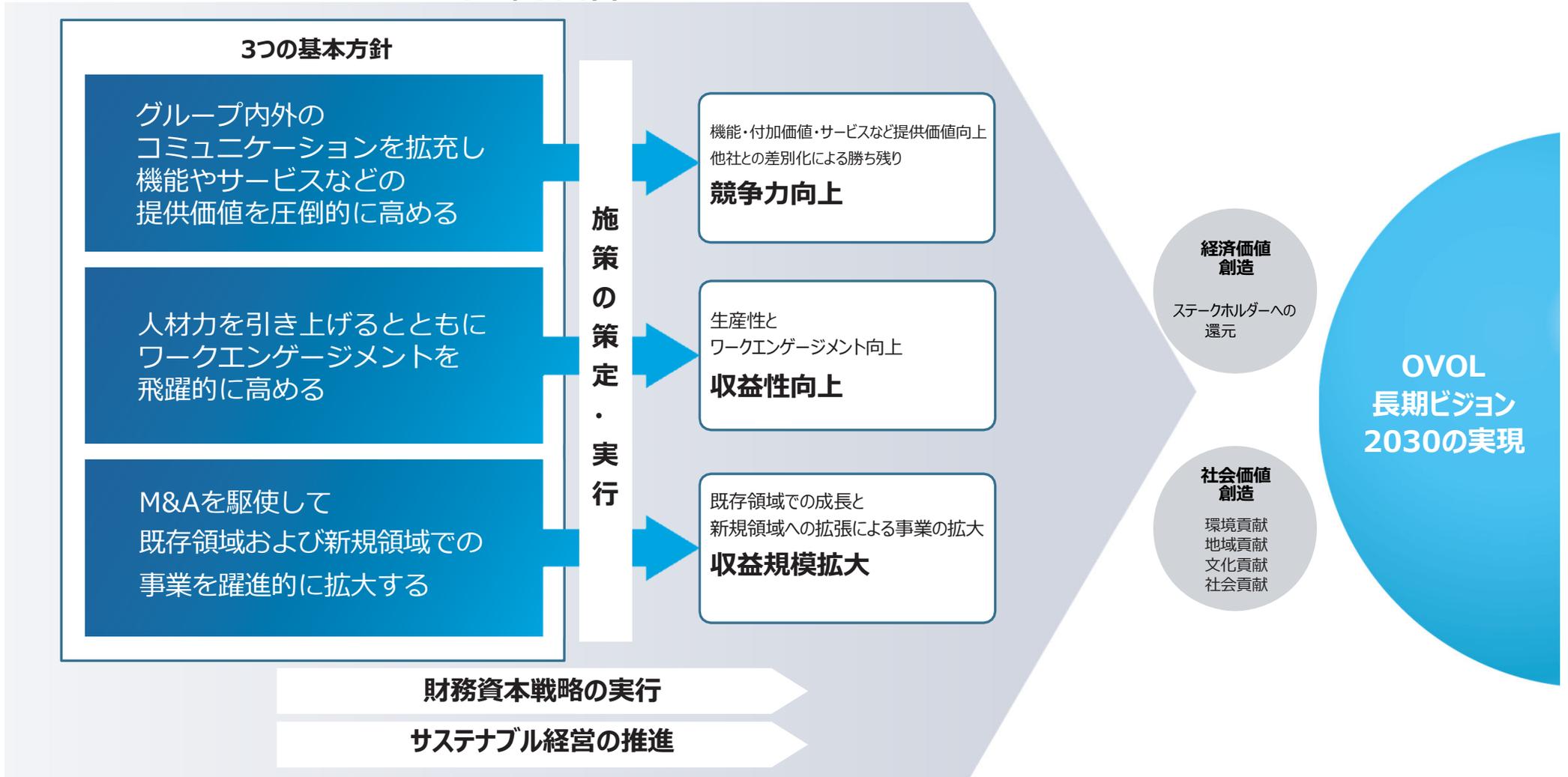
長期ビジョン実現のための経済価値と社会価値を創造する「具体的な仕組みづくり・仕掛けづくりの3年間」



OVOL中期経営計画2026 基本方針

3つの基本方針に基づく施策の策定・実行により、長期ビジョンの実現を目指す

OVOL中期経営計画2026



OVOL中期経営計画2026 連結財務目標

- 定量目標は過去最高益を上回る連結経常利益220億円
- 資本コストを一層意識した経営によりROE 8%以上、ROA 5%以上、ROIC 7%以上を実現
- 外部格付「A」の維持向上を図り、資金調達力を確保、ネットD/Eレシオ1.0倍を上限に財務レバレッジを活用

連結財務目標

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2026年度 目標
連結経常利益	89億円	151億円	212億円	168億円	220億円
ROE ^{※1} (自己資本利益率)	4.5%	13.0%	24.0%	8.4%	8.0%以上
ROA ^{※2} (総資産利益率)	2.7%	4.6%	5.9%	4.4%	5.0%以上
ROIC ^{※3} (投下資本利益率)	3.7%	5.7%	7.5%	6.2%	7.0%以上
ネットD/Eレシオ ^{※4}	1.23倍	1.06倍	0.66倍	0.59倍	1.0倍以下

ネットD/Eレシオの2026年度目標について

2022年度の固定資産売却収入等により0.6倍程度に改善し、財務健全性が大幅に向上。財務健全性を維持しつつ、成長投資へ機動的に対応できるよう1.0倍以下に設定

※ 2026年度の前提条件 為替レート：USD141.83円、GBP180.68円、AUD96.94円（2023年12月末レート）

※1 親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本（期首・期末平均）

※2 経常利益÷総資産（期首・期末平均）

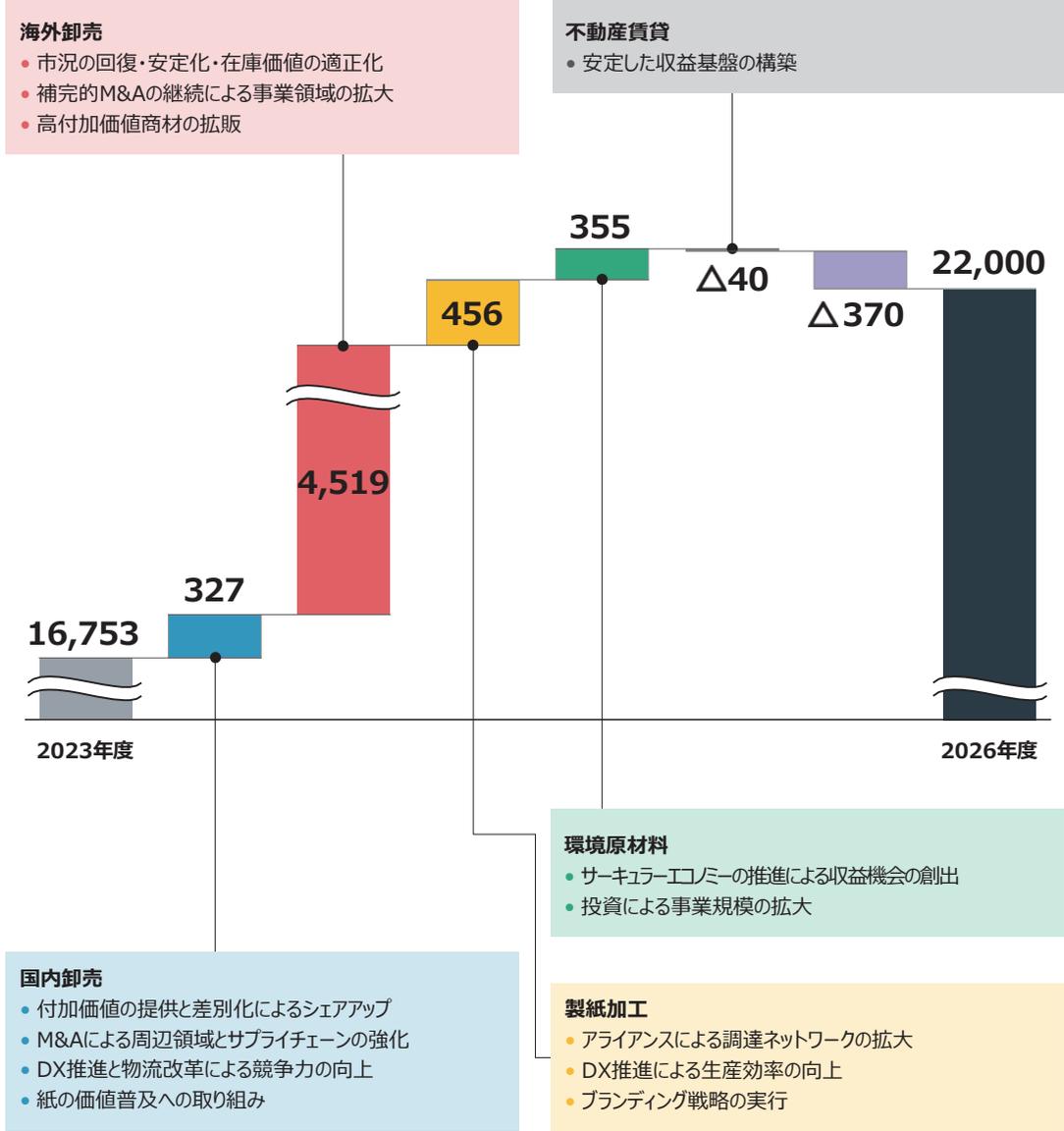
※3 NOPAT（税引後経常利益[利払前]）÷投下資本（有利子負債+自己資本[期首・期末平均]）

※4（有利子負債－現預金）÷自己資本

OVOL中期経営計画2026 連結経常利益目標 増減要因

2026年度 連結経常利益目標		
220億円		
	2023年度	2026年度目標
国内卸売	6,673	7,000
海外卸売	3,481	8,000
製紙加工	7,044	7,500
環境原材料	1,645	2,000
不動産賃貸	1,540	1,500
調整	△3,630	△4,000
合計	16,753	22,000

2026年度経常利益目標 増減益分析 (2023年度比)

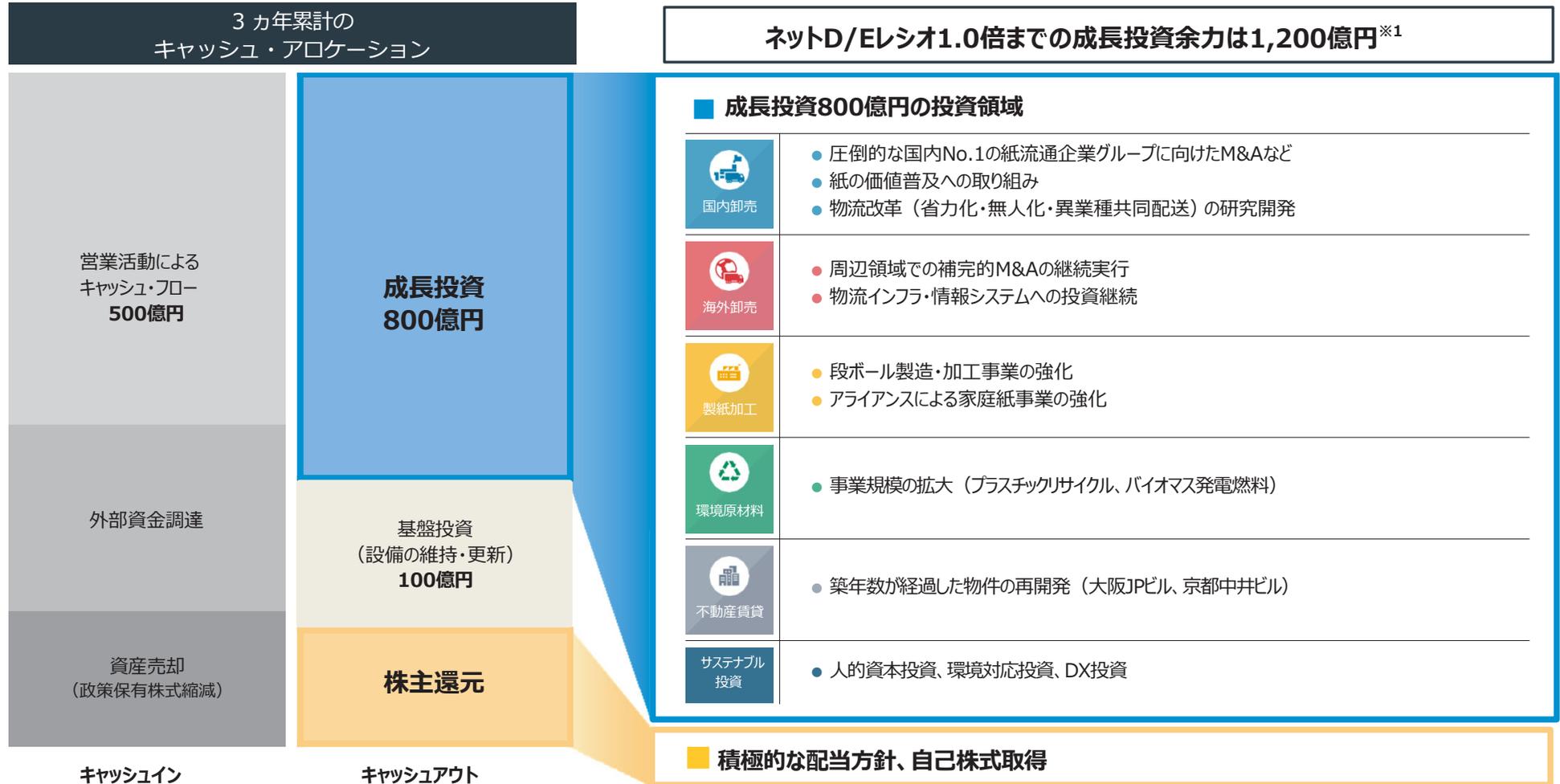


長期ビジョン実現のために必要な条件とセグメント別事業戦略

	既存領域での成長と 新規領域への拡張による事業の拡大 収益規模拡大	機能・付加価値・サービスなど提供価値向上 他社との差別化による勝ち残り 競争力向上	生産性と ワークエンゲージメント向上 収益性向上	
国内卸売	M&A・アライアンスによる事業領域拡大とサプライチェーンの強化	当社の機能や 価値の提供による 競合他社との差別化	家庭紙、高機能性、 高付加価値商材の 拡販	3C (チェンジ・チャレンジ・クリエイト) 人材の育成
海外卸売	補完的なM&Aの継続実行	高付加価値商材の 販売拡大	物流インフラや 情報システムへの投資継続	研修プログラムの実施、 専門知識を持った人材の 育成と確保
製紙加工	アライアンスによる調達ネットワークの拡大	段ボール事業における フル操業・フル販売	家庭紙事業における ブランド力向上と 販売拡大	CO2削減・省力化・ DX活用による効率化 製造業管理人材の 育成と確保
環境原材料	既存ビジネスの最大化と新たな事業への進出 新たな投資による事業規模の拡大			グループ各社との 情報共有と相互補完 による双方の収益拡大 操業や設備面の 知見を有した 人材の育成と確保
不動産賃貸	物件の再開発計画の策定・実行			不動産ポートフォリオの 最適化 主要物件の適正管理と 価値最大化

財務戦略・資本戦略～キャッシュ・アロケーション～

キャッシュ・フローの拡大と財務レバレッジの活用により成長投資と積極的な株主還元を実行



※1：M&Aなどの成長投資機会には、ネットD/Eレシオ1.0倍まで財務レバレッジを活用し、機動的に対応

財務戦略・資本戦略～株主還元方針～

市場期待に応える積極的な株主還元を実行

中計2026
期間中の
株主還元
方針

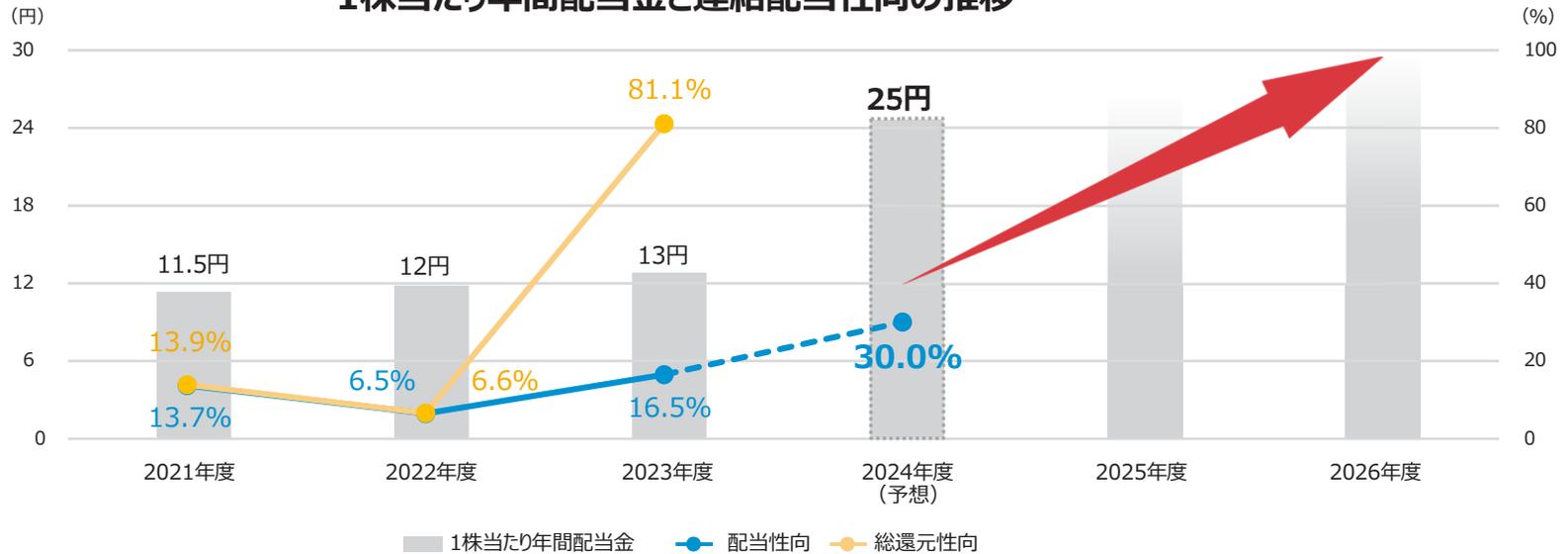
配当

- 連結配当性向を30%以上とする累進配当

自己株式取得

- 機動的かつ柔軟に実施

1株当たり年間配当金と連結配当性向の推移



※2024年9月末に1：10の株式分割を実施したため、2024年度以前の配当額については株式調整後の金額を表示しております。

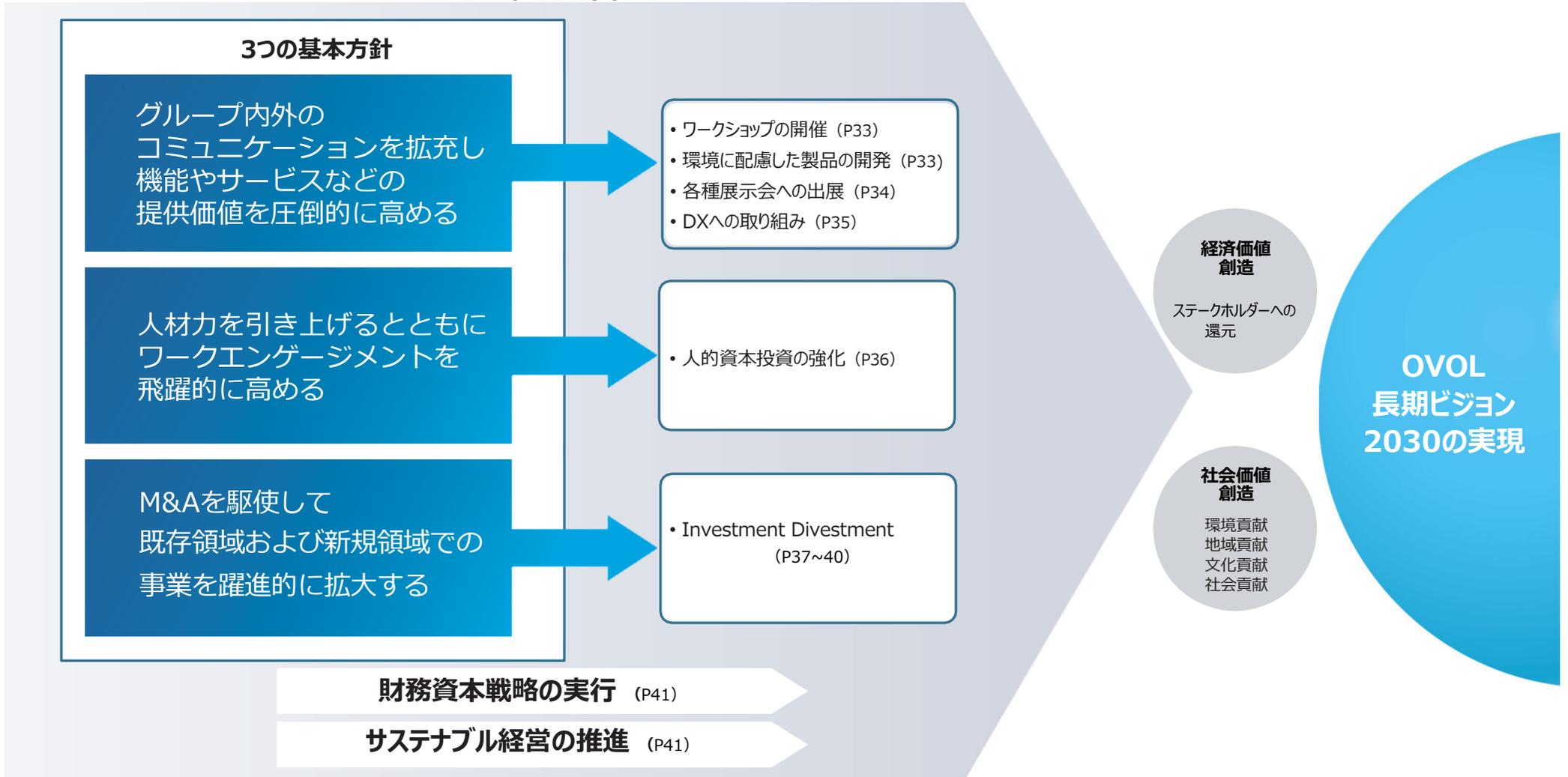


IV OVOL中期経営計画2026進捗状況

OVOL中期経営計画2026 進捗状況

3つの基本方針に基づく施策・サステナブル経営推進の進捗状況

OVOL中期経営計画2026



グループ内外のコミュニケーションの拡充①

紙の可能性を発想するワークショップ「OVOL CREATIVE WORKSHOP SERIES」を開催

2023年に開催した「OVOL Bridges 2023～The 2nd Paper Merchants Forum～」にて、紙の価値普及に向けた3つの取り組み（出前教室の全国展開・ワークショップの定期開催・紙の価値普及に向けた研究会の発足）を実行することを表明しました。その第一弾として、当社の顧客であり重要なビジネスパートナーである全国の紙卸商の皆様と共に、「OVOL CREATIVE WORKSHOP SERIES」を開催しました。

本ワークショップのテーマは「教育・知育」です。専門家によるフューチャートークや参加者によるグループワークを通じて、教育・知育の未来と、永年にわたり教育と文化を支えてきた紙・紙流通業の可能性を探り、チャレンジングなアイデアを発想、共有しました。

➤ 1日目「フューチャートーク」(8月26日・9月17日・10月7日)

教育分野の専門家である石戸奈々子氏（慶應義塾大学教授博士／CANVAS代表）と金子嘉宏氏（東京学芸大学教育インキュベーションセンター長）をお迎えし、教育・知育の現場がどのように変化していくのか、未来の展望についてご講演いただきました。

➤ 2日目「現在の強みと未来の兆しをかけ合わせ、目指したい未来を描き出す」(8月27日・9月18日・10月8日)

1日目のインプットを受け、未来の教育現場に紙と紙流通がどのように携わっていくべきかを議論しました。ワークショップの総仕上げとして、実現したい未来のために行うべきチャレンジングなアイデアをグループごとに発想し、共有しました。

なお、本「OVOL CREATIVE WORKSHOP SERIES」は、テーマを変えて毎年開催する予定です。

日本紙パルプ商事は、今後も紙の価値向上に向けて社会に積極的に提案・発信を行うとともに、このような取り組みを通じて、企業価値向上に取り組んでまいります。



窓付き包装袋『紙エール デザインウインドウ』が「2024日本パッケージングコンテスト」でジャパンスター賞（経済産業大臣賞）を受賞

日本包装技術協会が主催する「2024日本パッケージングコンテスト」に株式会社イムラと共同で『紙エール デザインウインドウ』を出品し、コンテストの最高位にあたるジャパンスター賞（経済産業大臣賞）を受賞しました。

『紙エール デザインウインドウ』は、当社が運営するサービスサイト『Paper & Green』が提案する、透明化用に開発された白色クラフト紙を使用した中身の見える包装袋です。本製品は古紙リサイクル適性Bランクに相当しているほか、国際的な森林認証制度である「FSCミックス認証」付与が可能です。受賞にあたっては、これらのリサイクル性やデザイン性が高く評価されました。

日本紙パルプ商事グループは、今後も包装分野における紙化や脱プラスチックの提案を推進するとともに、サステナビリティへの取り組みを進め、経済価値と社会価値をともに実現する持続可能な事業活動を実践してまいります。



グループ内外のコミュニケーションの拡充②

当社の展示会への出展一覧（2024年度）

開催日	展示会名	出展内容
4月17日～20日	2024中部パック	展示会のテーマである「私たちができること～食と包装の未来に向けて～」に沿って、プラスチックやアルミニウムなどのフィルム包装を紙素材へ代替可能とする、最新のバリア機能紙を中心に展示
4月17日～19日	第11回 ファッションワールド東京【春】	環境貢献型製品のソリューション提案やコンサルティングを行うサイトを運営するPaper & Greenが推進する「脱プラ・減プラ・紙化」をテーマに、アパレル関係企業向けの環境対応パッケージの展示やソリューションを提案 Paper & Greenウェブサイト： https://www.paperandgreen.com/
7月11日～12日	SOPTECとうほく2024	展示会のテーマである「変革・進化・そして次代へ」に沿って、脱プラスチックの動きが広がる中で紙素材への転換を図った事例の紹介やソリューションを提案
10月15日～17日	第4回サステナブルファッションEXPO秋	モリトアパレル株式会社の出展ブースの一区画にて、当社が供給する和紙糸を使用した生地のスーツ、ジャケット、シャツなどのアパレル製品を展示
10月29日～31日	高機能素材Week ／第4回サステナブル マテリアル展	『紙xエコxプラ』と題し、「紙化で実現する脱プラ・減プラ」「紙化!? いや、プラでもエコ実現！」という2つのテーマのもと、環境対応製品の展示やソリューションを提案

グループ内外のコミュニケーションの拡充③

DXへの取り組み

体制の構築

- グループ内のDXとIT統制を推進する部門として2023年度に「DX推進室」を新設。

DX推進

- デジタルトランスフォーメーションとデジタル最適化の2つの視点で推進中。
 - デジタル最適化業務棚卸調査による業務分析を開始。従来の手順や体制にとらわれない業務変革に取り組む。

生成AIの活用

- 当社専用ChatGPT環境を構築。現在、営業部門と企画部門を中心に278名が活用中。

IT統制・ITセキュリティの推進

- 「ITガバナンス基本方針」と「情報セキュリティ基本方針」を年度内策定に向け作業中。
- グループ全体を対象に2026年度までにIT統制監査を実施予定。2024年度から開始し本年度は15社での実施を計画。

人材力の引き上げ

人的資本投資の強化

エンゲージメント向上の取組み

- 2026年エンゲージメントレーティングの目標を「BBB」とし、2024年6月実施の結果は「B」から「BB」に向上。次回は12月に実施予定。目標達成を目指しアクションプランを設定し、実行
- 経営と現場をつなぐ「結節機能」の強化を図り、本部長・支社長および部長を対象にセミナーを開催
- 経営層からの発信と共有の場として、社長と部長による「経営との対話会」を2回開催

健康経営の取組み

- 健康経営優良法人2024認定取得
- 新たな有給休暇制度を導入（時間単位有給休暇）
- 全役職員対象のウォーキングラリーを開催
- 健康応援サイト「KENPOS」を導入予定



人材への投資

- 2026年度の教育研修費を2023年度比3倍に目標設定
 - 全役職員を対象にオンライン動画研修サービス「Udemy Business」を導入
 - 全グレードごとに研修ラインナップを整備
 - 自ら社外派遣型研修などを選択し受講できる制度を新設
- 2024年度上期における総合職採用の女性比率27.3%（KPI：30%）
- 2025年入社新卒総合職（内定者）を2024年比1.6倍に増加
- 海外との実践的なコミュニケーション力を有する人材育成を目的とした「海外研修制度」を運用（2024年上半期派遣実績：アメリカ1名 中国2名 計3名）

M&Aの推進①

OVOL中期経営計画2026では、M&Aを駆使して既存領域および新規領域での事業を躍進的に拡大することを基本方針とし、既存領域での成長と新規領域への拡張による事業の拡大を通じた収益規模拡大を目標としている。

- 現在、アメリカ、イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、インド、ホンコン、シンガポール、マレーシアにて域内への製品安定供給が可能な体制を構築。
さらに、海外卸売セグメントでは世界各国・地域にて在庫・配送機能を持つ、地域に根差した紙卸売会社のグループ会社化に注力。
- 「OVOL 中期経営計画 2026」の海外卸売セグメント方針「安定的な収益構造の構築と収益源のさらなる多様化」に基づき以下を目指す。
 - 補完的 M & A の継続実行による各市場でのシェアアップ・事業領域拡大
 - サイン&ディスプレイや包装関連資材、軟包装など高付加価値商材の販売拡大による収益増

Investment 補完的M&A他

軟包装材事業、サイン&ディスプレイ事業の譲受

- **シンガポール** 
OVOL Singaporeがサイン&ディスプレイ事業を行う **CAS Technology** を子会社化（2024年1月） 
- **マレーシア** 
OVOL Malaysia・Mutiara PaperとCompedo Mediaが
本社と倉庫を統合（2024年7月） 
- **ニュージーランド** 
Ball & Doggett Groupの子会社BJ Ball が、
Pacrite Industriesの軟包装材卸売事業を譲受（2024年8月） 
- **オーストラリア** 
Ball & Doggett Groupの子会社Ball & Doggettが、
Sign Essentialsのサイン&ディスプレイ事業を譲受（2024年9月） 

Divestment 譲渡・売却など

- 北米
Weiss McNair, LLC（ナッツ種殻収穫機械製造事業）
非中核・不採算事業の整理のため売却（2024年10月）
JRS Resources, Inc.（古紙再資源化事業）
中国段ボール原紙メーカー向け販売数量減少のため事業を停止（2024年1月）
- 東南アジア
JP CORELEX (Vietnam) Co., Ltd.（再生家庭紙製造事業）
経営資源の効率的な運用のため売却（2023年12月）

M&Aの推進②

Investment
欧州

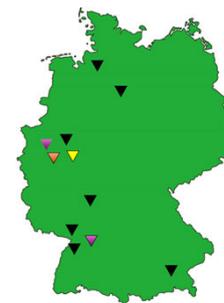
紙及びサイン&ディスプレイ・包装関連資材の在庫・配送機能を持つ卸売会社をグループ会社化

・ ドイツ

100 %出資の新会社**OVOL Papier Deutschland**、**OVOL Packaging**、**OVOL ComPlott** を設立し、同国内においてそれぞれInapa Deutschland、Inapa Packaging、Inapa Complott から事業を譲受

・ OVOL Papier Deutschland GmbH	グラフィック用紙の販売
・ OVOL Packaging GmbH	包装関連資材の販売
・ OVOL ComPlott GmbH	サイン&ディスプレイ関連商品の販売
売上高（2023年12月期）	550.4 百万ユーロ（約 89,165 百万円）
売上数量（2023年12月期）	38万トン
従業員数：約480名 拠点数：10か所	

※売上高・従業員数・拠点数はInapa Deutschland、Inapa Packaging及びInapa Complottの合計です。



・ フランス

Inapa France（グラフィック用紙の卸売事業）とその子会社**JJ LOOS**（サイン&ディスプレイ関連商品販売事業）を完全子会社化

・ Inapa France S.A.S. (OVOL France, S.A.S.に改称予定)	グラフィック用紙の販売
売上高（2023年12月期）	200百万ユーロ(32,352百万円)
売上数量（2023年12月期）	11万トン
・ JJ LOOS S.A.S.	サイン&ディスプレイ関連商品の販売
売上高（2023年12月期）	8百万ユーロ(1,355百万円)
従業員数：約220名 拠点数：5か所	

※従業員数・拠点数はInapa France、JJ LOOSの合計です。

OVOL France

※ 1 ユーロ=162 円

M&Aの推進（海外グループ会社）

北中米

- 紙・板紙・フィルム等販売事業
- サイン&ディスプレイ事業
- パッケージ事業
- 加工事業
- その他

ご参考

従業員数約300名（2024年3月末）



欧州

ご参考

従業員数600名（2024年3月末 * 5社は含まれない）

イギリス

- Premier Paper Group
- Graphic And Paper Merchants Northern Ireland
- Wine Box Company
- Gould International U.K.
- Gould Publication Papers U.K.
- Gould Paper Sales U.K.
- Harlech PPM

アイルランド

- Graphic And Paper Merchants Ireland

フランス

- Gould Papiers France
- EFP-Chavassieu
- OVOL France*
- JJ LOOS*

ドイツ

- Japan Pulp & Paper
- OVOL Papier Deutschland*
- OVOL Packaging*
- OVOL ComPlott*

M&Aの推進（海外グループ会社）



財務・資本戦略の実行 サステナブル経営の推進

中間配当について

- 2025年3月期中間期配当は前年比60円増の125円。

ビジネスと人権への対応

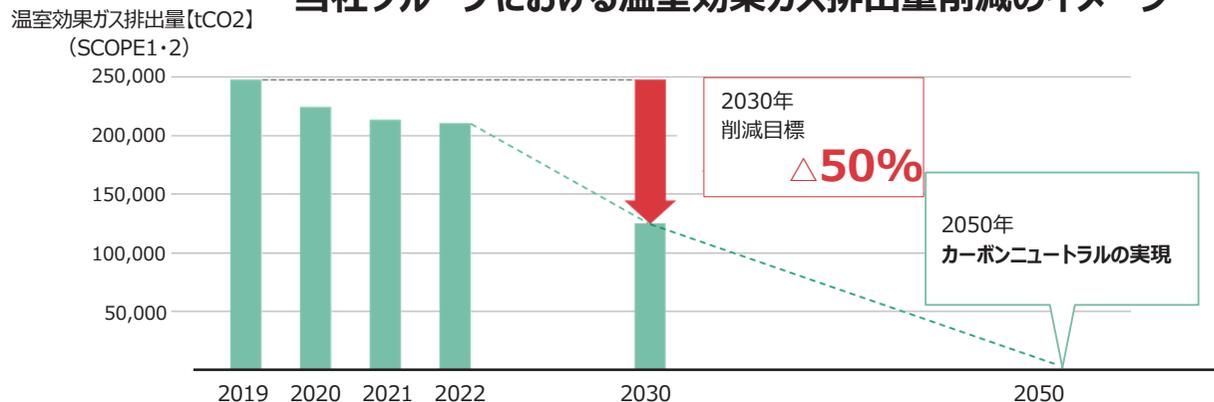
- ビジネスと人権に関する研修を、当社・国内グループ会社にて2024年度上期実施。海外グループ会社は2024年度下期に予定。
- 2024年度下期より人権デュー・デリジェンスに着手、グループ内の人権リスク調査を実施予定。

気候変動への対応

- 「日本紙パルプ商事グループ温室効果ガス排出量削減に関する中長期目標」を策定
 - ◆中期目標：2030年度までに2019年度比で50%削減
 - ◆長期目標：2050年カーボンニュートラルの実現を目指す
 - ◆重点施策
 1. 製紙加工セグメントにおけるさらなる生産効率化の追求
 2. 徹底的な省エネルギーの推進
 3. 再生可能エネルギーへの転換
- ※対象範囲：当社および連結子会社におけるSCOPE1・2

※現在、当社およびグループ各社において削減目標を策定中

当社グループにおける温室効果ガス排出量削減のイメージ



V Appendix

2025年3月期第2四半期 連結貸借対照表

資産の部

単位：百万円

	2024年3月期末	2025年3月期 第2四半期末
流動資産	222,963	226,859
固定資産	149,641	148,167
その他	41	31
資産合計	372,645	375,057

負債・純資産の部

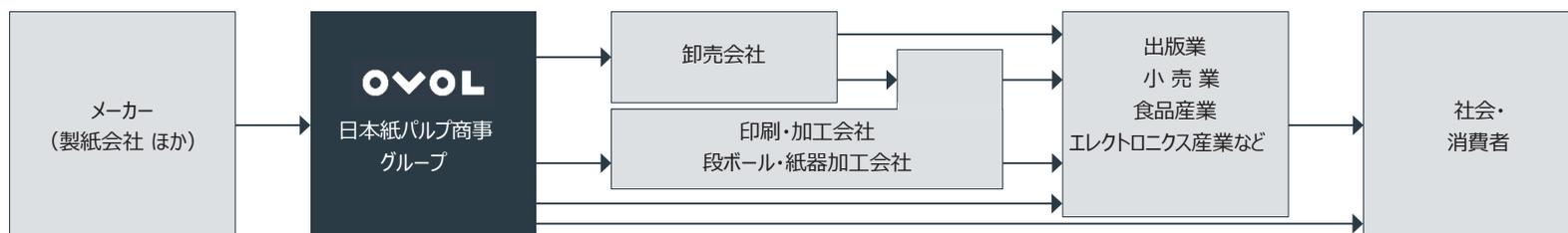
単位：百万円

	2024年3月期末	2025年3月期 第2四半期末
流動負債	189,337	183,352
固定負債	44,960	43,948
負債合計	234,297	227,300
純資産合計	138,347	147,757
負債・純資産合計	372,645	375,057
自己資本比率	34.2%	39.3%
ネットD/Eレシオ	0.59倍	0.48倍

- 総資産は24億円の増加。
流動資産は、売上債権が減少した一方、在庫増による棚卸資産が増加。
投資その他の資産は、投資有価証券の時価の下落により減少。
- 負債合計は70億円の減少。有利子負債などの減少による。
- 当期末の有利子負債残高は822億円と、前年度末と比べ107億円減少。⇒ ネットD/Eレシオは0.48倍とさらに良化。
- 純資産は利益剰余金、為替換算調整勘定の増加により、94億円増加。

業界内で圧倒的なプレゼンスを誇り、国内紙流通トップシェア

国内卸売事業のビジネスフロー



紙・板紙・関連製品の卸売

- 国内主要メーカーの販売代理店として、紙・板紙の販売において国内トップシェア
- パッケージング用紙・電子部品関連の機能材・環境配慮型フィルムなどの幅広い生活・産業資材の供給とソリューションの提案

物流事業

- 当社グループと協力会社のネットワークによって日本全国に紙の安定供給を実現
- 共同保管・共同配送など、合理化・効率化を企画・展開

ICTシステム開発事業

- 紙業界向けに特化した業務システムの販売・運用とAIを駆使したサービスの開発・販売
紙卸売業システム、紙物流システムの導入社数において業界内の圧倒的トップシェアを誇り、紙流通業のシステムインフラを担う

取り扱い製品

書籍・出版物、カタログ・チラシなどに
使用されるグラフィック用紙



段ボール原紙などのパッケージング用紙
段ボール・フィルムも含めた包装資材



製造工程に使用される
機能材・工業材料



オフィスや家庭向けの紙製品



紙の価値普及に向けた3つの取り組み

全国の紙卸商の経営者を招待したフォーラム「OVOL Bridges 2023」にて、紙の価値普及に向けた3つの取り組みを表明、具体的なアクションを実施していく

<全国の紙卸商と当社で行う取り組み>

- 出前教室の全国展開
- ワークショップの定期開催
- 紙の研究会の発足



紙運送時の環境負荷低減

走行時の排気ガスをなくし、ゼロ・エミッション輸送が可能な
小型電気トラック（EVトラック）を紙運送業界で初めて導入
安全運転をサポートする最新装備を搭載



環境配慮型製品

CO2排出量削減やプラスチック使用量低減などの環境課題の解決に向けて、
環境に配慮したさまざまな製品を顧客の要望に合わせて提案・提供



紙と創る、ひとつ先の未来。



Paper & Green

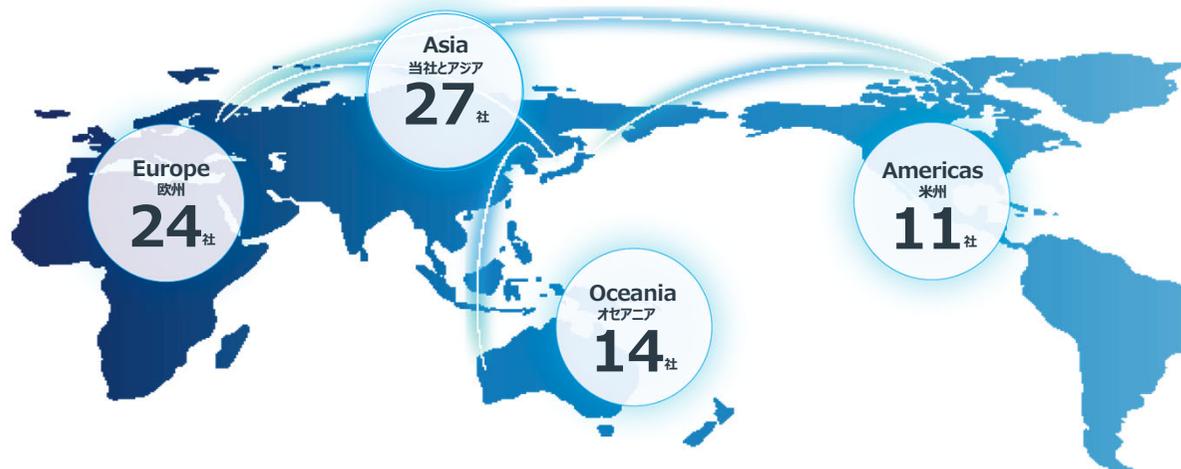
環境配慮型製品の販売およびソリュー
ーションの提案を行うサービスサイトを
運営



世界有数の紙専門商社として各国・各地域に根づいたグローバル&クロスボーダーなビジネスを展開

海外卸売事業のビジネスモデル

グローバルなサプライソースを活用し、
各拠点の在庫・物流機能を活かしたビジネスを展開



2024年9月30日現在

注目市場

サイン&ディスプレイ市場

- ・屋外広告、自動車などへのラッピング広告
- ・施設案内表示 ・POP広告 ・交通標識



販売品目

- ・プリンター ・テクニカルサービス
- ・紙 ・フィルムメディア ・インクなどのサプライ用品

パッケージング市場

- ・軽包装 ・重包装 ・軟包装



販売品目

- ・外装箱や化粧箱などの紙製品
- ・パルプモールドなどの容器 ・緩衝材
- ・食品や薬品などに使用されるフィルム製の軟包装

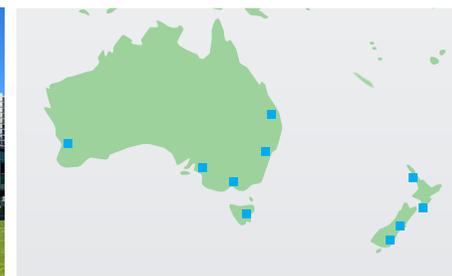
OVOL USA (Gould Paper Corporation)

ニューヨークに本社を置く、米国内有力紙流通グループ
東海岸、南部陸を中心に拠点を構えるほか、英国・フランスなどでも事業を展開
2023年にはさらにフランスの情報用紙・産業用紙を取り扱う企業を買収し、欧州においても販売体制を強化



Ball & Doggett Group

メルボルンに本社を置く、オセアニア有数の紙流通グループ
豪州ではBall & Doggettとして、ニュージーランドではBJ Ballとして事業を展開
両国での紙・板紙市場は、国内生産比率が低いことから、特に印刷・情報用紙分野ではその製品の多くを輸入に頼っており、同社グループは紙流通業として重要な役割を担っている
また、サイン&ディスプレイや軟包装などの事業領域を拡大



Premier Paper Group

バーミンガムに本社を置く、英国内有力紙流通グループ
同国での紙・板紙はオセアニア地域同様、多くを輸入に頼っており、在庫・物流機能を有する紙流通業が重要な役割を担っている
サイン&ディスプレイ・軟包装の取り扱い強化やパッケージの製造・販売事業への進出など、事業領域を拡大
2022年にはアイルランドの企業を買収し、当社グループの調達基盤を活用した供給力を強化している



グループ内での原料調達・製造・販売のサプライチェーンの最適化を図る

段ボール事業

段ボール原紙の製造からシートやケースの加工まで行う
総合パッケージサプライヤー

- 段ボール原紙を製造する製紙事業、原紙から段ボール製品を製造する加工事業を展開し、総合パッケージサプライヤーとしての体制構築を推進
- 古紙を原料として使用し、環境負荷低減を追求
製造においても、木質バイオマス発電などの再生可能エネルギーを活用するなど環境に配慮した事業を展開
- 生産性向上、および安全性の確保に向けた投資を継続



再生家庭紙事業

優れたリサイクル技術により難再生古紙を再資源化し、
限られた資源の有効活用と紙ごみの減量化に貢献

- 再生トイレtpーパーや再生ティッシュペーパーなどの家庭紙を製造
- 優れた古紙再生処理技術力により、他社ではリサイクルが難しいとされる難再生古紙の使用が可能
- 独自の技術や製品開発力により、再生トイレtpーパーにおいては高い国内シェアを誇る
- 「二度と再生できない」トイレtpーパーだからこそ、限られた資源を有効活用



段ボール事業

大豊製紙<製紙>

岐阜県において、古紙を主原料とする段ボール原紙を製造。バイオマス発電による蒸気・電力を利用した生産体制を構築、事務所棟を含む場内使用電力の100%再生可能エネルギー化を達成



エコペーパーJP<製紙>

愛知県において、古紙を主原料とする段ボール原紙と出版本文用紙、ポーガスペーパーを製造。バイオマス発電、蒸気の有効活用、購入電力の再生可能エネルギー化など、CO₂の削減を推進



昭和包装工業<製造・加工>

岐阜県、愛知県において、段ボールシート、ケースのほか、紙器や美粧段ボールを製造するなど、トータル・パッケージメーカーとして事業を展開



美鈴紙業<製造・加工>

大阪府、神奈川県において、段ボールシートおよびケースなどの包装資材を製造。本社/大阪工場では最新鋭の高速マシンを導入し、生産スピード向上や印刷精度などの品質アップを実現



Oriental Asahi JP<製造・加工>

インドネシアにて当地日系企業向けの高品質な段ボールケース供給を展開。小ロット・多品種・ジャストインタイムを実現。2021年の新工場稼働により生産体制を強化



再生家庭紙事業

コアレックスグループ<再生家庭紙製造>

静岡県、神奈川県、北海道に生産拠点を構え、高度な古紙再生処理技術力と芯なしトイレトロールなどの独自の製品開発力で再生トイレトロールや再生ティッシュペーパーなどの家庭紙を製造。積極的な省エネ対策の推進によりCO₂を削減。また「紙の地産地消」の推進、災害時にはグループ会社、提携工場と連携して被災地への安定供給を行うなど、地域社会にも貢献



コアレックス信栄のCO₂排出量削減を可視化した「Smart Flower」

トイレトレーラー

JPホームサプライが販売する「移動式トイレトレーラー」を、各自治体および災害支援団体や協議会との助け合いのネットワークを通じて災害発生時に各地に派遣



サーキュラーエコノミーの推進により、資源の再生と循環に取り組む

古紙再資源化事業

製紙原料としての
古紙の再資源化を推進

- 品質を重視した古紙再資源化事業に取り組み、国内製紙メーカーへの安定供給を実現
- 福田三商を中心に、日本全国をカバーする古紙事業のネットワークを構築
- 海外では米国、インドに拠点を構え、世界的な視野で製紙原料としての古紙の再利用を推進
- グループ製紙会社と連携し、サーキュラーエコノミーを推進



総合リサイクル事業

プラスチック系廃棄物、
古紙、木質系廃棄物を
再資源化

- 分別困難なプラスチック系廃棄物を、光学選別機により自動選別、洗浄、再生ペレット化
- マテリアル化が困難な複合素材プラスチックから固形燃料を製造
- 木質系廃材や林地残材から木質燃料を製造



再生可能エネルギー事業

クリーンで安全な電力の
安定供給

- 太陽光・木質バイオマスによる発電事業
- マレーシアにおけるPKSの集荷・輸出



古紙・リサイクル事業

福田三商株式会社

日本有数の古紙商社
中部地区を中心に古紙リサイクルネットワークを構築
優良な品質の古紙資源の安定供給に向け、きめ細かい
拠点ネットワークを整備



株式会社エコポート九州

熊本県において、容器包装プラスチック、機密書類の処理
やRPF、木質ペレット製造などの総合リサイクル事業を行っ
ており、容器包装プラスチックのマテリアル化施設としては
全国有数の設備を有する。
プラ新法施行に伴うプラスチック廃棄物のリサイクル量
増加に対応すべく、第2工場の建設を計画



再生可能エネルギー事業

株式会社エコパワーJP

日照時間が長く、晴天率の高い北海道釧路市に
所在する太陽光発電所 発電出力は20MW



株式会社野田バイオパワーJP

岩手県九戸郡野田村に所在する木質バイオマス発
電所
東日本大震災で被災した野田村の復興事業の一つと
して、雇用や近隣の林業振興を通じた地域貢献に
取り組む
近隣の未利用材や樹皮を、主な燃料としている



東京・大阪・京都など大都市部の好立地に所有する不動産の有効活用により
安定した収益基盤の構築に取り組む

主要な不動産

名称	所在地	階数	用途	竣工
日本橋日銀通りビル	東京都中央区日本橋本石町	地上8階	オフィス、店舗	2014年9月
OVOL日本橋ビル	東京都中央区日本橋室町	地上15階、地下3階	オフィス、ホテル、店舗	2018年6月
OVOL京都駅前ビル	京都府京都市下京区北不動堂町	地上10階、塔屋1階	ホテル	2019年3月
セルリアンホームズ勝どき	東京都中央区勝どき	地上26階、地下1階	住宅、店舗	2001年3月
大阪JPビル	大阪市中央区瓦町	地上8階、地下2階	オフィス、店舗	1972年10月



日本橋日銀通りビル



OVOL日本橋ビル



OVOL京都駅前ビル



セルリアンホームズ勝どき



大阪JPビル



日本紙パルプ商事株式会社

〒104-8656 東京都中央区勝どき三丁目12番1号 フォアフロントタワー
www.kamipa.co.jp/

本資料で記載されている業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
これらの将来の見通しに関する記述は、本資料作成時において当社で入手しうる各種情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料は、記載された目標の達成および将来の業績を保証するものではなく、また、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。